

Pudu Robotics、 100,000 台目のロボット完成で重要なマイルストーンを迎える

Pudu Robotics（本社：中国深セン、日本法人 Pudu Robotics Japan 株式会社 代表取締役社長：張涛、以下、PUDU）は、中国の江苏省建湖のスーパーファクトリーで 100,000 台目のロボットを完成させ、重要な生産マイルストーンを達成しました。この成果は、PUDU の累計出荷台数が 10 万台を超えたことを示すだけでなく、商業分野におけるサービスロボットのグローバルな普及の加速を示しています。



PUDU の創設者兼 CEO の張涛は、「10 万台のロボットの完成は、PUDU ロボティクス 글로벌展開と製造の進化における新たな章を意味します。私たちは、幅広いカテゴリの製品ポートフォリオを強化し、複数の技術スタックを進展させ、デジタルトランスフォーメーションを促進する多様な製品を提供し続けます」と述べました。

PUDU のコア製造拠点であるスーパーファクトリーは、2024 年 8 月に正式に操業を開始しました。40,000 平方メートル以上の広さを誇るこの施設は、年間生産能力 10 万台を目指して設計されています。先進的な IoT インフラを備えた工場は、サプライヤーとのコラボレーションや IPD に基づく研究開発、品質の追求、スマート倉庫を通じて、ライフサイクル全体のインテリジェント管理を支援します。このインテリジェ

ント製造における革新は、生産効率と一貫性を大幅に向上させ、スケーラブルなロボット製造の新たな業界基準を確立します。



PUDU のスマート製造能力は、グローバル戦略における重要な役割を果たしています。現在、同社の収益の 80%以上が海外市場から得られ、60 か国以上にビジネスを展開しています。強力な生産能力により、世界的な需要の高まりにも迅速かつ信頼性を持って応えることができ、グローバルなサービスロボット業界の先駆者としての地位を一層強化しています。

製品の優秀さを確保するため、すべてのロボットは工場の品質保証センターで厳格なテストを受けます。フラッグシップモデルである BellaBot、FlashBot Max、PUDU CC1、PUDU T300 は、エージングテスト、障害物回避、傾斜性能試験など、広範囲な評価を実施しています。これらの高い基準は、PUDU の品質への深いコミットメントと顧客中心の理念を反映しています。



このマイルストーンを記念して、製造ラインを離れた 10 万台のユニットは、PUDU の最新の革新である AI 搭載の自律型清掃ロボット「PUDU CC1 Pro」で、全プロセスのインテリジェントな自動化を実現しています。この成果は、PUDU の急成長と製造規模を反映するとともに、サービスロボット分野における次なるグローバルな革新の章を開くことを意味しています。

■ Pudu Robotics について

Pudu Robotics は、サービスロボット分野のグローバルリーダーとして、人間の生産性と生活水準の向上を目指し、革新的なロボット技術に取り組んでいます。サービスロボットの研究開発、製造、販売に注力しており、Pudu Robotics は世界中で 1,000 以上の特許を保有しています。ロボットは、飲食、小売、ホスピタリティ、医療、エンターテインメント、教育、製造などのさまざまな業界で広く採用されています。これまでに、Pudu Robotics は 100,000 台以上のユニットをさまざまな市場に出荷し、世界中の 60 カ国以上で展開しています。